

令和2年度第1回浜田市環境清掃対策審議会会議録

【日時】 令和2年7月29日（水）

午後1時25分～午後2時40分

【会場】 浜田市立中央図書館多目的第1ホール

1 市民生活部長あいさつ

2 自己紹介

3 役員選出

「事務局提案」発言があり、満場一致により会長に宮本美保子氏、副会長に豊田知世氏を選出した。

【出席状況】 委員出席 9名 委員欠席 1名 事務局出席 4名

4 審議事項

1) ごみ処理基本計画の策定について（諮問）

諮問書及び策定説明資料に基づき説明

結果：原案のとおり承認

【質問】 計画の委託先の条件はあるか。

【回答】 計画業務を行う業者を指名し、入札・決定しました。

2) ごみ収集カレンダーの形状変更について

ごみ収集カレンダー及びごみ分別アプリ等の資料に基づき説明

【意見】 現在のカレンダーは他市町村に比べ多大な経費が掛かっているため、形状変更はやむをえない。広告なども掲載し、できるだけ経費を削減していただきたい。

【意見】 形状変更後のカレンダーも、分別の方法を載せるなどして利用しやすいものにしていただきたい。

【意見】 ごみ分別アプリの導入は、若い方に興味を持っていただければと思いますので、積極的に検討していただきたい。なお、他市町村のアプリ利用率も確認した方が良いでしょう。

【質問】 形状変更後のカレンダーは使用后リサイクルできるか。また、印刷はできるだけリサイクル用紙を使用していただきたい。

【回答】 形状変更後のカレンダーもリサイクルできます。リサイクル用紙を使用した印刷については、今後検討していきたいと思っております。

5 報告事項

- 1) 令和元年度のごみ排出量等について
- 2) 浜田市ごみ処理基本計画の進行管理指標との比較

資料に基づき一括して説明

【意見】 資源ごみが減った原因は、プラ類を可燃ごみとして出すことが可能となったことによると思う。新しい「ごみ処理基本計画」では分別方法の啓発などもしっかり盛り込み、資源化するような計画としていただきたい。

【事務局】 分別の変更は、資源とならないプラスチック類が燃やせるごみということで変更しました。以前のように、資源となるようなものは資源として出していただくような周知の方法や仕組みを取り組んでいかなければならないと考えています。

プラごみ全体がリサイクル対象となるなど新聞報道されていましたが、今後の動向を見ながら対応をしていきたいと思えます。

年間直接搬入量については、家庭ごみの搬入が増えています。更に、「片付け、断捨離、遺品整理」が最近増えているため、一人当たりのごみの量が増えたり、リサイクル率が下がったりして最近2～3年は特別な状況と思われまます。

いずれにしてもリサイクル率が上がるように、一人当たりの燃えるごみや不燃ごみの排出量が減るように考えていかなければならないと思えます。

【意見】 江津市のようにいつでも出せるステーションがあればリサイクル率が上がると思う。

【事務局】 資源ごみの回収は、浜田市役所駐車場、各支所、総合福祉センターに回収ボックスを設置しており、ごみ袋を使用しないで資源ごみを出すことができます。店舗によっては、古紙なども回収する民間業者がおられ、その関係で資源ごみが減っているかと思えます。

【質問】 事業系のごみについて、業種別の統計が取られているのか。又、事業者に対してのごみ抑制に向けての指導をされているのか。

【回答】 業種別のごみの統計は取っていません。事業者へのごみ指導は、カレンダーの配布にあわせて周知・啓発を行っており、今後も指導していきます。

6 その他

【意見】 エコライフ推進隊で、今年中に浜田市全体のごみ処理施設を見学に行く予定である。広報で募集があるので、ぜひ参加し、ごみ処理施設等の実情を見ていただきたい。

【事務局】

別紙「災害・火災に遭われた場合の廃棄物の取り扱い」について説明

災害・火災に遭われた場合の「灰、瓦、コンクリートブロックなど」の受け入れを本年10月から開始する予定

【意見】 : なし

以上